

1. 学校の教育目標

理念

動物との絆を通じ、慮る心、生命への共感を育み人と動物の調和のとれた社会創りに貢献する

スクールモットー

慮る

教育目標

専門知識と技術を習得し、問題解決能力と動物看護実践能力を身につけた人間を育成する

人間関係を良好に維持できるコミュニケーション能力をもった人間を育成する

動物医療の質の向上をめざし、社会のニーズに応じた地域貢献のできる人間を育成する

育成人材像

「慮る」精神をベースに「合格力」「実践力」「コミュニケーション力」を備えた動物看護師を育成する

2. 平成27年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

	重点目標・計画	評価	総括	改善・特記事項
1	学校中期計画の策定	4	平成28年度から認定動物看護師の公的資格化を目指す平成31年度までの中期計画を策定し、中期計画に沿った学校運営と教育活動に取り組む。	
2	学内規程の整備	4	学校運営や教育活動等に必要な最低限の規定は整備できたが、今後も必要に応じて規程の整備に取り組む。	
3	危機管理マニュアルの整備と防災訓練の実施	2	防災マニュアルは整備できたが、予定していた防災訓練と食糧等の備蓄ができなかった。 また、学校飼育動物のフード等は、新日本カレンダー株式会社ペイ事業部により提供されることが決まった。	平成28年度の年間スケジュールに防災訓練日を設定し、全学的な防災訓練を実施するとともに食糧等の備蓄を行う。 また、今後は災害時の動物救護活動についても、獣医師会や行政と連携して取り組む必要がある。
4	平成26年度に導入した「動物看護師養成高位平準化コアカリキュラム」の完成	4	平成27年度に完成年度を向えたコアカリキュラムについては、定められた授業時間を確保し予定していた授業科目を開講できた。	
5	離脱者を1年14名(10%)、2・3年4名(3%)、全体18名(6%)以下に防止	4	1年12名(8%)、2・3年3名(2%)、全体15名(5%)の離脱となり、今年度の目標を達成した。引き続き組織的に離脱者防止に取り組んでいきたい。	
6	動物看護師統一認定試験100%合格	4	116名受験、116名合格、合格率100%を達成した。全国平均合格率86%と比べて高い合格率となった。	
7	就職決定率97%以上達成	4	卒業116名、就職希望111名に対して109名内定、就職決定率98%と目標97%以上を達成した。未内定者には引き続き個別サポートを行う。	
8	新入生150名以上確保	3	年々早期化する進学活動に対して、高校1・2年から学生募集活動を積極的に行ったが、新入生128名、目標達成率85%に留まった。	高校1・2年を対象にした募集プログラムを強化することによって、早期化する進学活動に対応した学生募集活動を行い新入生160名を確保する。

3. 平成28年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

	重点目標・計画	達成方策
1	教育力と学生指導力の向上	学内研修と個人研究費制度を充実させることによって、教職員の教育力と学生指導力等を向上させる。
2	ペピイハッピープレイスと連携したカリキュラム開発	カリキュラム検討プロジェクトを設置し、新日本カレンダー株式会社が隣地に建設する高齢者住宅(ペピイハッピープレイス)と連携して動物看護師の職域拡大を目指した独自のカリキュラム開発と人材育成に取り組む。
3	防災訓練の実施と食糧等の備蓄	平成28年度の年間スケジュールに防災訓練日を設け全学的に訓練を実施するとともに、食糧等の備蓄を行う。
4	1年生の離脱者を8%以下に防止	学習サポートプロジェクトを設置し、動物看護師に必要な数学等を学ぶ「総合学習」を開講し、補講やクラス担任による個別サポートを実施する。 また、多様な成績評価方法や定期試験期間の確保等の制度面の見直しを行うことによって、1年生の離脱者を8%以下に抑える。
5	動物看護師統一認定試験合格率100%達成	年間計画に沿って計画的に試験対策を実施するとともに、成績不良者に対する支援を強化することによって合格率100%全員合格を達成する。
6	就職決定率100%達成	クラス担任と就職担当スタッフが連携して個別サポートを行うとともに、授業としてキャリアデザインプログラムを実施することによって就職決定率100%全員就職を達成する。
7	新入生160名確保	早期化する進学活動に対応した学生募集対策によって新入生160名の確保を目指す。
8	財務体質の改善	平成28年度中に学校が保有する隣地を新日本カレンダー株式会社に売却することによって、借入金を全額返済し財務体質を改善する。

4. 平成27年度評価項目の達成及び取組状況

評価(4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切)

1 教育理念・目標		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
1	1	4	学校案内(P23-25)、ホームページ(1-1)、学習要領(P1)	本校は理念に基づいて、動物看護師を養成する単科の専門学校として、スクールモットーや教育目標、育成人材像を定め教育活動を行っている。	4.2
1	2	4	学校関係者評価委員会議事録(別⑤-4)、教職員研修会資料(2)	学校関係者評価委員会や大阪府・大阪市獣医師会会長を講師に開催した研修会において、業界の動向と動物病院のニーズを把握して将来構想を描いている。	3.1.1
1	3	4	教育課程編成委員会議事録(別⑤-5)、教育委員会議事録(別⑤-6)、教職員研修会資料(2)、教務委員会議事録(別⑤-7)	動物看護師を養成する単科の学校として、教育課程編成委員会や農林水産省認可の全日本獣医師協同組合と定期開催している教育委員会、大阪府・大阪市獣医師会会長を講師に開催した研修会において、業界や動物病院のニーズを把握して学科の教育目標と育成人材像を定めている。	3.1.2 e)
1	4	4	学校案内、ホームページ(1-2・3)	本校は開学以来、農林水産省認可の全日本獣医師協同組合の監修・指導を受けて、教育課程の編成や施設・設備の整備等を行い、動物病院で必要とされる最新の知識と技術を身に付けた動物看護師を養成していることが特色となっている。	3.1.3 a)
1	5	4	学校案内(P23-25)、ホームページ(1-1~3)、学習要領(P1)、オープンキャンパス保護者説明会資料(4)、教育懇談会資料(5)、教育振興会資料(6)	保護者等にはオープンキャンパスや教育懇談会、教育振興会において、学生には入学前オリエンテーションにおいて、理念や教育目標、育成人材像、特色等を周知している。	3.3.1 a)

2 学校運営		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項		
2	1		専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	設置認可通知書(8)、寄付行為認可通知書(7)、職業実践専門課程申請書(9)	設置基準と寄付行為、学則、職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営を行っている。	4.1 x)
2	2		運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	学校組織図(10)、組織規程(別④-33)、会議規程(別④-10-23)、委員会規程(別④-10-23)、職務分掌規程(別④-34)	運営組織と意思決定機能は、学校組織図と組織規程、会議規程、委員会規程、職務分掌規程によって明確に定めている。	4.1
2	3		教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	学校組織図(10)、組織規程(別④-33)、事務決裁規程(別④-35)、稟議規定(別④-36)、学内規程一覧(別④-24-51)	学内規程一覧にある稟議規定や組織規程等により、意思決定システムは明確に整備している。	4.1
2	4		目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	平成27年度事業計画(11)、中期事業計画(12)	理念や教育目標に基づいて、単年度事業計画及び中期事業計画を策定し、計画に沿って学校運営を行っている。	4.2
2	5		事業計画に沿った運営方針が策定されているか (3段階評価:3・2・1)	3	学校管理運営方針(別④-1)、平成27年度事業計画(11)、中期事業計画(12)	学校管理運営方針を策定し、事業計画に沿って学校運営を行っている。	4.2
2	6		人事、給与に関する制度は整備されているか	4	就業規則、給与規則、旅費規定、慶弔金及び見舞金支給規則、退職金規則、定年退職者勤務延長及再雇用規定、嘱託員規定、育児休業規則、介護休業規則(別④-24-32)	人事及び給与に関する規則・規定を整備して適切に運用している。	4.1
2	7		専任教員は適正に配置されているか	4	コアカリ科目内容読み替え表(13)、時間割(14)	コアカリキュラムの科目毎に、専任教員(動物看護師・獣医師・トリマー)を適切に配置している。	4.6.1 4.6.2 e)
2	8		専任教員の講義・実習負担は妥当であるか	4	専任教員授業担当表(15)	専任教員の負担が大きくならないように考慮して、専任教員の講義・実習科目の持ちコマを決定している。	4.6.1 4.6.2 e)
2	9		教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか (3段階評価:3・2・1)	3	講師会資料(16)	講師会を年2回定期的に開催し、教育理念や教育方針、育成人材像、成績評価方針等を共有し、意見交換をすることによって教育内容を改善している。	4.7
2	10		業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組みができていないか(苦情及び要請への対応を含む)	4	ホームページ問合せ窓口(1-4)、問合せ対応表(別④-56)	ホームページに問い合わせ窓口を設けて、担当部署がフォローチャートの手順に沿って対応している。	4.10
2	11		教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	学校案内、ホームページ(1-5)	学校案内やホームページにおいて、教育活動を適切に情報公開している。	3.3.1 x)
2	12		情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	学校システム・会計システム・給与システム・資産管理システム(17)	学生募集、学籍、成績、就職、卒業生、会計、給与、資産管理等に関する情報は、各種システムにより効率化を図り、適切に管理・運用を行っている。	4.7 x)

2 学校運営		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
2	13		2 理事長会議議事録(別⑤-1)	<p>毎月行っている理事長会議において、教育方針や教育目標等を見直しているが、ISO29990で示されたマネジメントシステムのレビューのために必要な全ての情報について報告書を作成し、マネジメントシステムのレビューを行っていない。</p> <p>改善: マネジメントシステムのレビューに必要な情報について報告書を作成し、理事長会議においてマネジメントシステムのレビューを実施する。</p>	4.3
2	14		3 苦情・クレーム対応表(別④-55)	<p>学生や保護者等からの苦情や要請等の対応に関しては、担当部署やクラス担任等が、クレーム対応フローチャートの手順に沿って対応しているが、予防も含めた是正処置規定を整備していない。</p> <p>特記事項: 是正・予防処置規定を整備して、フローチャートの手順に沿って苦情・要請等に適切に対応する。</p>	4.4
2	15		3 学習要領(P56-58)	<p>オリエンテーション時に相談やクレームの窓口や受付方法を案内している。また、学習要領にハラスメントやカウンセリングの窓口や受付方法は記載しているが、相談やクレームの窓口や受付方法を記載していない。</p> <p>特記事項: 学習要領に相談やクレームの窓口や受付方法を明記する。</p>	3.3.1 d)

3 教育活動		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
3	1	4	学習要領、教育到達レベル(別④-2)	学習要領と教育到達レベルにおいて、修業年限に対応した授業科目を配当しており、科目毎にテーマや授業内容・目標、授業計画、授業方法、成績評価方法、テキスト等を明記している。	3.1.3 c) 3.3.1 b)
3	2	4	学習要領(P9-49)、学習サポート資料(18)	コアカリキュラムで決められた時間数は授業時間で充足しているため、自主学習時間等は学習要領に記載していないが、カリキュラムの目的や要件に対応した講義科目や演習科目、実習科目を配当し、学生が無理のない範囲でレポート提出や予習・復習のできる授業計画を策定している。また、実技の自主練習や到達点に達しない学生に補講等の学習サポートも実施している。	3.2.3 b)
3	3	4	コアカリ科目内容読み替え表(13)	講義科目に関しては、90%以上機構推奨コアカリキュラムに準じたカリキュラムを実施している。	3.2.3 b)
3	4	4	コアカリ科目内容読み替え表(13)	実習科目に関しては、90%以上機構推奨コアカリキュラムに準じたカリキュラムを実施している。	3.2.3 b)
3	5	4	授業評価アンケート(19)、成績一覧表(20)、科目別成績一覧(21)	授業評価アンケートや成績一覧表、科目別成績一覧によって、学生のスキル等を確認している。	3.1.3 b)
3	6	4	教育課程編成委員会議事録(別⑤-5)、教育委員会議事録(別⑤-6)、教職員研修会資料(2)	動物病院や獣医師会等から受けた要請や意見等を反映させた実習中心のカリキュラム編成を行い、獣医師と動物看護師等による実践的な授業を行っている。	3.1.3 d) 3.2.3 b)
3	7	4	カリキュラムポリシー(別④-4)	学科毎にカリキュラムポリシーを策定し、教育課程の編成・実施方針を定めている。	3.2.1
3	8	4	学習要領(P9-49)	学科・学年毎に授業科目概要を作成している。	3.2.3 a)
3	9	4	学習要領(2年カリキュラム表)、時間割(14)、教育委員会議事録(別⑤-6)	動物看護師統一認定試験に向けて教務委員会と試験対策担当教員が中心となって「試験対策講座」をカリキュラムの中に位置付け、全日本獣医師協同組合の協力のもと指導体制を整備している。	3.2.2
3	10	4	学習要領(P9-49)	学習要領において、科目毎に到達目標を記載した授業科目概要を作成している。	3.2.3 a)
3	11	4	学習要領(2年カリキュラム表)、インターン実習依頼書(22)、インターン実習の注意(23)、インターンシップ評価表(24)、コアカリ科目内容読み替え表(13)	コアカリキュラムの授業時間に沿って実習授業とインターン実習を体系的に配置している。また、卒業年次に動物病院におけるインターン実習(80時間×2回)では、動物病院による評価を受けている。	3.2.3 c)

3 教育活動		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項		
3	12		シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか(あるいはホームページなどで公開されているか) (3段階評価:4・3・2)	4	学習要領	新学期前のオリエンテーションや授業初回に学習要領を配布している。	3.3.1 a) 3.3.1 f)
3	13		実技・実習は講義と連動するなど、効果的学習に配慮されているか	3	学習要領(1年-3年カリキュラム表)	教育効果を考慮して講義科目と実技・実習科目を連動させて配置するよう努めている。また、授業の組み立てを最初講義を行い、それから実習を行うようしている。 特記事項:カリキュラムツリーを作成する。	3.2.3 b)
3	14		カリキュラム(の作成・見直し等)に関し、定期的に外部者(動物看護師、獣医師団体等)の評価や意見を取り入れているか (3段階評価:3・2・1)	3	教育課程編成委員会議事録(別⑤-5)、教育委員会議事録(別⑤-6)	年2回実施している教育課程編成委員会と毎月実施している全日本獣医師協同組合との教育委員会において、カリキュラムの見直し等を実施している。	3.2.2
3	15		動物を使用する実習、実験などに関し、これらに関する倫理・動物の福祉についてマニュアルや規則が整備され、公表されているか (3段階評価:3・2・1)	3	学校飼育動物健康管理委員会議事録(別⑤-8)、動物実習に関する基本方針(別④-6)、学校飼育動物管理資料(25)、学習要領	学校飼育動物に関しては、学校飼育動物健康管理委員会が学校飼育動物実習に関する基本方針を策定し、平成27年度後期から学習要領に記載している。 上記以外に、学校飼育動物に関しては、健康管理体制、人獣共通感染症対策、適正飼育動物数、検疫体制、譲渡方針・譲渡方法、ワクチンプログラム等を整備している。	3.2.2
3	16		学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか (3段階評価:3・2・1)	3	学習要領(P6-8)、教育懇談会資料(5)、教育振興会資料(6)	学習要綱に成績評価基準や単位認定基準、進級・卒業規程を明記し、学生と保護者に周知するとともに、教育懇談会や教育振興会において詳しく伝えている。	3.5.1 b)
3	17		動物看護師資格にもっとも重要なインターンシップについて、依頼先の獣医師等と十分なコミュニケーションをとり、その内容、評価法などを事前に決めているか (3段階評価:4・3・2)	3	インターン実習依頼書(22)、インターンシップ評価表(24)	事前に学校からインターンシップ受け入れ動物病院へ実習内容や評価法について依頼をしているが、現状は実習内容や評価基準については動物病院に任せており、十分なコミュニケーションをとり決めていない。 特記事項:学校と動物病院の関係や年間2回、毎回100名以上の学生がインターンシップを受けている現状と本校のスタッフ数から、動物病院と事前に十分なコミュニケーションを取ることは困難だと判断している。	3.2.3 c)
3	18		職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか (第三者による授業評価を行っているか)	4	教育課程編成委員会議事録(別⑤-5)、学校関係者評価委員会議事録(別⑤-4)、教育委員会議事録(別⑤-6)	各委員会の外部委員(動物病院・獣医師会等)からの評価を、教育課程の編成や授業改善等に取り入れている。	3.5.1 c)
3	19		学生の成績情報等への閲覧制限が適切に設定され、個人情報保護への配慮がされているか	4	個人情報保護規定(別④-47)、個人情報保護に関する基本方針(別④-7)、システムへのアクセス権限とパスワード設定(26)	個人情報保護規定、個人情報保護に関する基本方針を定め、アクセス権限やパスワードを設定して個人情報保護に努めている。	3.5.2 a)

4 学修成果		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項	
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	学習要領(P7-8)	授業科目概要に科目毎の評価基準を明示し、進級・卒業規程に従って適切に評価・判定している。	3.5.1 x)
4	2	就職率の向上が図られているか (3段階評価:3・2・1)	3	就職実績表(過去5年分)(27)	過去5年の就職率は96%、卒業者に占める就職者の割合は91%、就職決定者のうち動物病院への就職率は96%と、目標とする動物病院に高い就職率で就職している。	3.5.3 c)
4	3	資格取得率(動物看護師統一認定試験合格率)の向上が図られているか (3段階評価:4・3・2)	4	合格実績表(過去4年分)(28)	過去4年の合格率は98%、合格者数は481名と高い合格実績を達成している。	3.5.3 c)
4	4	退学率の低減が図られているか (学生の進級率と卒業率はどうか) (3段階評価:4・3・2)	4	退学率一覧(29)、職業実践専門課程申請書(過去3年分)(9)、基礎資料調査3年分(進級・卒業率部分)(30)	コアカリキュラムを導入した平成26年度の退学率は9.7%と高くなったが、サポート体制を整備し学習サポート等を徹底した結果、平成27年度には5.3%と低減した。過去3年間の平均退学率は6.9%となっている。	3.5.3 c)
4	5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか) (3段階評価:3・2・1)	3	ホームページ(1-6)	クラス担任が卒業後の支援窓口となっており、希望者には就職担当職員が転職支援等を行っている。 また、卒業生にもホームページから求人情報を検索できるようにしている。	3.2.2
4	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	4	学校自己評価報告書「2.平成27年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画」(31)	学校自己評価報告書「2.平成27年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画」において、動物看護師統一認定試験合格率、就職率、離脱者数、入学者数の評価目標を明記し総括及び改善・特記事項を記載している。	3.5.1 a)
4	7	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	目標発表会資料(32)、人事考課表(33)、教育課程編成委員会議事録(別⑤-5)、教育委員会議事録(別⑤-6)、授業評価アンケート(19)	学生による授業評価以外に、年2回目標発表会と人事考課を行っている。 また、教育課程編成委員会や全日本獣医師協同組合との教育委員会において、カリキュラムの評価を含めた教育課程の検証を行っている。	3.5.1 b)
4	8	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	成績証明書(34)、卒業証明書(35)	社会的通用性の高い証明書を発行している。	3.5.2 a)
4	9	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	2	学習要領(P9-49)	動物看護師統一認定試験に合格することを目的に、授業科目毎に到達目標を設定しているが、到達目標に対する評価や総括を報告書として作成していない。 改善:授業科目毎に到達目標に対する評価や総括を報告書として取りまとめる。	3.5.3 c)
4	10	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	事業委託契約書(36)	株式会社ペイイと委託契約を結び、継続教育(卒後教育)を実施している。	3.1.2 b)
4	11	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	卒業生アンケート(1月31日実施)(37)	平成28年1月に初めて卒業生アンケートを実施し、本学の教育が卒業後のキャリア形成に役立ったか、また、本学の教育に対する要望等を把握したところで、平成29年度の教育活動の改善に活用していく。	4.4

5 学生支援		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
5	1	3	学校組織図(10)、学習要領(P55)、就職サポートプログラム(38)、就職ガイダンス資料(39)、就職相談記録(40)、保護者向け就職セミナー資料(41)	就職委員会が中心となり、クラス担任と就職担当職員が連携して支援する体制を整備しており、学生や保護者にも周知している。	3.1.2 c)
5	2	3	学校組織図(10)、学習要領(P56-58)、学生個人カード(42)、カウンセリング予約申込表(43)、学校医就任承諾書(44)	定期的なクラス担任による個人面談や、相談内容に応じてスクールカウンセラーや就職担当、学校医と連携しサポートする体制を整備している。	3.1.2 c)
5	3	4	教育懇談会資料(5)、保護者向け就職セミナー資料(41)、教育振興会資料(6)、ニュースレター(45)、学生個人カード(42)	保護者懇談会や保護者向け就職セミナーを開催して、教育活動や就職活動等に関する情報を提供し、個別面談を行っている。 また、保護者と連携して学生を支援することを目的に教育振興会(PTA)を設置し、ニュースレターを発行している。	3.1.2 e)
5	4	3	学生個人カード(42)	入学後の個人面談時にクラス担任が社会人学生の要望等について把握し、関連部署が個別に対応しているが、社会人担当窓口は設置していない。 特記事項: 運営会議や教職員会議において、社会人担当窓口の設置について協議する。	3.1.3 c)
5	5	4	継続教育プログラム(46)	卒業教育として動物看護師に必要な継続教育プログラムを提供している。	3.2.2
5	6	4	学習要領(P58-65)	入学時に配布する学習要領の中に、学校施設の使用方法やカウンセリングの申込方法、ハラスメント相談窓口等を明記し、オリエンテーションで周知している。	3.3.1 e)
5	7	4	学生募集要項(P8-11)、奨学金説明会資料(47)	経済的支援制度として本学独自の特別奨学生制度や遠隔地学生支援制度等を整備しており、公的奨学金等の支援体制も整備している。	3.3.1 x)
5	8	4	学校保健安全に係る規程(別④-49)、学校医就任承諾書(44)、面談記録(カウンセリング)(48)、健康診断受診者一覧(49)	毎年、定期健康診断を実施している。病気や怪我等に関しては、クラス担任が窓口になって、学校医・スクールカウンセラーと連携し対応している。	3.5.2 b)
5	9	4	学校組織図(10)、離脱者防止プロジェクト議事録(別⑤-9)、学生個人カード(42)	離脱者防止プロジェクトが中心となりクラス担任と連携して、全学的に学習サポートに取り組んでいる。	3.5.2 b)
5	10	4	資格取得講座一覧(50)	現在、部活動のような課外活動は行っていないが、学校が推奨する資格取得に対して、課外で資格取得講座を開講したり、教育振興会(PTA)より経済的な補助を行っている。	3.3.1 x)
5	11	4	学生募集要項(P9-10)、奨学金ガイド(51)、無料宿泊案内(52)	信頼できる学生マンション業者の紹介や、遠方より入学する学生に対して遠隔地学生支援制度を設け家賃補助を行っている。	3.3.1 x)
5	12	3	高校内ガイダンス参加一覧(53)	高校内で行われる模擬授業等には参加しているが、高校と連携したキャリア教育は実施していない。 特記事項: 要望があれば高校と連携したキャリア教育プログラムを検討する。	3.3.1 x)

6 教育環境		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項		
6	1		施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割に合わせ、無理なく配備されているか) (3段階評価:3・2・1)	3	設置認可通知書(8)、学校案内(P15-16)、保有施設一覧(54)、時間割(14)	クラス教室を整備しており、講義形式の授業はクラス教室で行っている。また、必要に応じてセミナーホールを使用している。	3.3.3 4.8
6	2		血液検査等の実習室には検査に必要な設備が備わっているか (3段階評価:4・3・2)	4	学校案内(P15-16)、保有施設一覧(54)、保有機器一覧(55)	検査実習室に学生数に見合った検査機器等を整備している。	3.3.3
6	3		基本的な動物看護実習に用いる動物を使用できる実習室が備わっているか、また必要な数の動物が利用できるか (3段階評価:4・3・2)	4	学校案内(P15-16)、保有施設一覧(54)、保有機器一覧(55)、実習動物ノート(56)	看護実習に必要な機器等を備えた看護実習室が2室あり、実習動物ノートにより、実習に必要な動物を管理している。	3.3.2 a), c)
6	4		自己学習に必要な図書室ないし図書スペースを設置しているか	4	設置認可通知書(8)、保有施設一覧(54)	自習ができる図書室を整備している。	3.3.3
6	5		授業や実習にコンピュータが利用できる環境が設置されているか (3段階評価:4・3・2)	4	学校案内(P15-16)、保有施設一覧(54)、保有機器一覧(55)	授業に必要なPC台数を備えたコンピューターームを整備している。	3.3.3
6	6		学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4	定期検査報告書(57)、保守作業報告書(58)、教員担当一覧(59)、部品在庫管理表(60)	専門業者による定期的な施設・設備の点検を実施している。また、実習施設や備品については、各教室担当者が管理している。	3.3.2 a)
6	7		実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	時間割(14)、教室使用一覧(61)	時間割と教室使用一覧により、教室利用割り当て等の管理を行っている。	3.3.2 c) 4.8
6	8		教職員に対して学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	2	研修計画(3)、教育研修規定(別④-48)、個人研究費規程(別④-48)、学校安全・保健計画(63)、避難マニュアル(別④-52)、災害発生時の基本対応(別④-53)	学校主催の教職員対象研修を実施するとともに、学外の学会・研修・セミナーに関しては、個人研究費制度を設け参加を推奨している。 避難訓練に関しては、防災マニュアルを策定しているが、避難訓練等は実施できていない。 改善:年間スケジュールに防災訓練日を設け全学的に防災訓練等を実施しなければいけない。(平成28年10月25日実施予定)	3.3.2 b)
6	9		防災に対する体制は整備されているか	3	消防計画書(64)、避難マニュアル(別④-52)、災害発生時の基本対応(別④-53)	消防計画書を含めた防災マニュアルを策定し、防災に対する学内体制を整備しているが、危機管理全般をカバーできていない。 特記事項:危機管理全般をカバーするマニュアルの整備に取り組む。	4.5 b)
6	10		学内外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか	4	固定資産明細表(65)	実習施設は施設・設備管理台帳と備品台帳により管理しており、コアカリキュラムを履修できる実習施設を完備している。	4.8

6 教育環境		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
6	11	3	インターンシップ依頼書(22)、インターンシップ評価表(24)	<p>事前に学校からインターンシップ受け入れ動物病院へ実習内容や評価法について依頼をしているが、現状は実習内容や評価基準については動物病院に任せており、十分なコミュニケーションをとり決めていない。</p> <p>特記事項：学校と動物病院の関係や年間2回、毎回100名以上の学生がインターンシップを受けている現状と本校のスタッフ数から、動物病院と事前に十分なコミュニケーションを取ることは困難だと判断している。</p>	3.3.1 a), b), f)
6	12	3	海外研修資料(66)	<p>施設見学が中心の海外研修は毎年行っているが、学生への教育が十分行われていない。</p> <p>特記事項：学生委員会において、研修内容の見直しや学生への教育が必要か検討する。</p>	3.3.3

7 学生の受入れ募集		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
7	1	4	募集要項(P1、P13-)、合否判定会議議事録(別⑤-3)	入学志願書等の提出をもって選考試験を行い、合否判定会議において合否を判定し、出願書類は適切に保管している。	3.1.2 f)
7	2	4	募集要項(P13-)、調査書(現地審査時)、卒業(見込み)証明書(現地審査時)	出願時に出願資格を証明する書類を提出させており、調査書、卒業(見込み)証明書等は適切に保管している。	3.1.2 a)
7	3	4	学生募集要項(P1-7)	学生募集要項に出願資格、入試日程、選考方法を明記している。	3.3.1 g)
7	4	4	学生募集要項(P3)	学生募集要項に選考料と学費、教材費、行事費等卒業までに必要な費用を明記している。	3.3.1
7	5	4	学校案内(P19-22)、ホームページ(1-7)、合格実績表(過去4年分)(28)、就職実績表(過去5年分)(27)	学校案内やホームページ、学生募集サブツールにおいて、正確な動物看護師統一試験合格率や就職率を明記している。	3.1.2 e)
7	6	4	学習要領(P2-8)	入学時や進級時オリエンテーションにおいて、評価方法や評価基準、学位授与等について周知している。	3.3.1 a)
7	7	4	学生個人カード(42)、学生対応表(現地審査時)	学力不足や障がい等の特別なニーズは、入学後の個人面談で把握しており、学生個人カードや学生対応表により教職員がニーズを共有して、学習サポートプログラムや個別サポートによって、個別ニーズに対応している。また、入学前に受験生から特別なニーズに関して相談があれば、担当部署等において協議し対応している。	3.1.2 d)
7	8	4	学習要領、オリエンテーション資料(67)、学校保健安全に係る規程(別④-49)、個人情報保護に関する基本方針(別④-7)	カリキュラムや時間割、教員、施設・設備、個人情報の取り扱い、学内外で発生した病気や怪我の対応等は入学オリエンテーション時に案内している。	3.3.1 c)
7	9	4	学生募集要項(P3)、近畿地区動物系専門学校学納金等調査表(68)	近畿地区の動物看護系専門学校の学納金等を調査した結果、教育内容や施設・設備、学修成果等から妥当な金額設定となっている。	3.3.1 x)

8 教育の内部質保証システム		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項	
8	1	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	授業評価アンケート(19)	学生による授業評価アンケートを実施して、授業評価の低い教員には面談を行い、授業改善に向けた指導を行っている。	3.4 3.5.1 d)e)
8	2	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容やカリキュラムを評価しているかまたその評価方法、手段、スケジュールはどのようであるか)(3段階評価:4・3・2)	2	授業評価アンケート(19)、授業改善報告書(69)	教務委員会が授業方法や授業内容等について授業アンケートを実施し、運営会議において評価結果から改善が必要と判断した教員には、校長と副校長が面談を実施して授業改善等に取り組んでいるが、研究授業や参観授業を通して授業評価を行っていない。 改善:教育課程編成委員会を含めた参観授業を実施して、授業評価に取り組む。	3.5.3 a) 3.5.3 b)
8	3	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	運営会議議事録(別⑤-2)	施設・設備に関しては、毎年事務局が委員会等から出された改善点を取りまとめ、全日本獣医師協同組合の監修を受けて、運営会議において施設・設備計画を策定し、動物病院に近い環境の整備に取り組んでいる。	3.5.3 d)
8	4	教員及び職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	4	職務分掌規程(別④-34)	職務分掌規程にある職務分掌は、毎年見直しを行い、必要に応じて改正している。	4.6.1
8	5	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	4	専任教職員・非常勤講師一覧(70)、目標発表会資料(32)、人事考課表(33)、職務分掌規程(別④-34)	教職員のコンピテンシーと職務分掌、設定目標に関連付けた教職員の人事考課を毎年2回実施し、人事考課表を保存している。	4.6.2 a), b),e)
8	6	教職員の仕事に対する意欲や満足度について聞き取りを行っているか	3	目標発表会資料(32)	年2回目標発表会を実施し、教職員の目標設定とその達成度について全教職員で共有し確認を行っているが、面談は行っていない。 特記事項:教職員の面談が必要か検討する。	4.6.2 c)
8	7	専門分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)(3段階評価:4・3・2)	4	研修計画書(3)、個人研究費規程(別④-48)、セミナー報告書(71)	学校として夏期休暇等を利用して教職員研修を実施している。また、学会やセミナー等への参加助成を目的として個人研究費規程を定め、専門知識・技術の修得や指導力向上に取り組んでおり、セミナー報告書として記録している。	4.6.2 d)
8	8	動物系関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	専任教職員・非常勤講師一覧(70)	専任講師・非常勤講師ともホームページによる公募を原則としているが、大阪府立大学や大阪府獣医師会、大阪市獣医師会、全日本獣医師協同組合、株式会社ネオベッツの協力を得て、本校の求める優秀な教員の確保に努めている。	4.6.2 x)
8	9	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	個人情報保護規定(別④-47)、文書保存規程・文書保存年限表(別④-42)、個人情報保護に関する基本方針(別④-7)、特定個人情報の取扱いに関する基本方針(別④-8)、ID・パスワード・アクセス権限等設定(26)、SSL導入(26)	個人情報保護規定や文書保存規程、文書保存年限表、基本方針に基づき、保有する個人情報の適切な取り扱いに努めており、パソコンやサーバーへのアクセス権限等を設定しセキュリティ対策に取り組んでいるが、運用面において文書管理に改善の余地がある。 特記事項:文書管理の運用面の改善に取り組み、個人情報の保護に努める。	4.1

8 教育の内部質保証システム		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項		
8	10		法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	学校関係者評価委員会議事録(別⑤-4)	関係法令及び設置基準に基づき適切な学校運営を行っているか自己評価し、学校関係者評価委員会の外部委員による点検を行っている。	4.6.2 f)
8	11		文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	4	文書保存規程・文書保存年限表(別④-42)	文書保存規定及び文書保存年限表により適切に文書管理を行っている。	4.1
8	12		内部監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	内部監査体制・スケジュール(72)、内部監査報告書(73)、内部質保証人材養成講座修了証(74)	一般社団法人全国動物専門学校協会主催の内部質保証人材養成講座を修了した内部監査員6名による内部監査を実施している。監査結果は学校自己評価委員会において検証し、内部監査報告書を作成している。 また、監査結果は当該部署の責任者に報告し改善要求等を行い、学校自己評価報告書に反映させている。	4.9 a)~c)
8	13		内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	内部監査報告書(73)	内部監査報告書において、改善すべき課題や問題点を明確に指摘している。	4.9 d)
8	14		内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	2	内部監査報告書(73)	内部監査の結果、改善点を当該部署の責任者に指摘しているが、是正期限を設定しておらず、是正報告書の作成も行っていない。 改善:改善すべき点を当該部署の責任者に指摘してから、原則6カ月以内に改善に向けた進捗状況を確認し、是正報告書を作成する。	4.9 e)
8	15		自己点検・評価結果を公表しているか	4	ホームページ(1-5)	自己点検評価報告書をホームページにおいて公開している。	4.9 x)

9 財務			評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	会計監査報告書(75)	公認会計士の指導の下、適切な会計処理が行われており、監事による会計監査も実施されている。	4.5 a)
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	ホームページ(1-5)、情報公開規程(別④-44)	学校ホームページにおいて、貸借対照表等の財務諸表を公開している。	4.5 a)
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	財務諸表(76)	近年の財務状況は安定しているが、今後、翌年度繰越収入超過をマイナスからプラスに転換していく必要がある。 特記事項: 収支予測に基づく、当年度の消費収支超過額を安定的にプラスにできる予算計画を策定する。	4.5 a)x
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	資金収支予算書(77)	事業計画に基づいて資金収支予算書を作成し、定期的に執行状況を確認している。	4.5 a)x

10 社会貢献・地域貢献		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項		
10	1		学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	継続教育プログラム(46)、ペピアカデミックフェスタプログラム(78)、大阪動物愛護フェスティバルプログラム(79)	動物看護師向け卒後教育の提供や大阪動物愛護フェスティバルにおいて、動物の健康診断等を実施している。 また、グループ会社主催のペピアカデミックフェスタにおいて、動物看護師対象セミナーや会場を提供している。	
10	2		学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	大阪動物愛護フェスティバルプログラム(79)	大阪動物愛護フェスティバルの学生ボランティアを募集し、積極的にボランティア活動を支援している。	
10	3		地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3	継続教育プログラム(46)、ペピアカデミックフェスタプログラム(78)	動物看護師向け卒後教育の提供やグループ会社主催するペピアカデミックフェスタにおいて、動物看護師対象セミナー等を提供しているが、地域に対する公開講座や教育訓練は実施していない。 特記事項: 地域向け公開講座や教育訓練に対するニーズはあるか検討する。	